

VST-AU Pulse Editor™ 2.0.0 User Manual

 Windows 98, ME, 2000, XP, Vista, Windows 7

 OSX

 Universal Binary

目次

- » はじめに
- » インストール
- » MIDI セットアップ
- » グラフィカル・ユーザーインターフェース
- » VST-AU Pulse Editor の操作
- » プリセットの操作
- » Sysex プリセットの使用
- » MIDI コンティニューアスコントローラー (CC) リスト
- » モジュレーション・ルーティング・チャート
- » MIDI インプリメンテーション

はじめに

reKon audio™ VST-AU Pulse Editor™ をお買い上げいただきありがとうございます。
VST-AU Pulse Editor™ は Waldorf Pulse™、Pulse Plus™のサウンドの全てのパラメーターを完全にコントロールすることができるリアルタイム MIDI シンセ・エディターです。今、あなたは Pulse の全ての能力を生かすことができ、長く使えて有意義なパッチを組み立て、あなたの音楽に新しい息吹を吹き込むことでしょう。マニュアルのダンプ操作に精を出さなくても、コンピュータ上で全てのパッチを見て、エディットし、管理することができます。お使いの VST または AU ホスト上で、あるいはスタンドアロンで、全てのパラメーターは自動的にコントロールでき、ホストシーケンサーで Pulse をヴィジュアルにプログラムする能力を与えることができます。あなたのプロダクション環境で、リアルタイムにあなたのシンセのパッチを表現するこの能力は、他のハードウェアシンセエディターと比べると、VST-AU Pulse Editor™ を特長づけるものです。また、VST-AU Pulse Editor™ は、ホストでサポートしていない場合あるいはホストを使う必要がない場合でも、スタンドアロンで使用できます。

先進パッチ・マネージャー

VST-AU Pulse Editor™ には、パッチ名を変更し、ドラッグアンドドロップで1つのスロットから他へパッチを移すことができる先進のパッチマネージャーが用意されています。それによりパッチに意味のある名前を付け、効率よく管理し、.fxp/.fxb ファイルとして保存できます。

先進パッチ・ランダムマイザー

VST-AU Pulse Editor™ には、パッチをランダムに生成する先進のパッチランダムマイザーが用意されています。

MIDI IN と OUTのモニター

MIDIモニターは VST-AU Pulse Editor™に 入力あるいは出力される全てのMIDIデータを見ることができます。入力と出力の表示は簡単に切り替えられます。表示されたデータはコピーして、標準のテキストエディターや他のアプリケーションにペーストすることができます。

MIDI セットアップ

VST-AU Pulse Editor™ は、エディター内でMIDI INとOUTのポートを直接選択できる新しい構成を採用しています。これは、ほとんどのVST-AUホストやこれまでに送り出した製品にはない機能で、MIDIシステムエクスクルーシブデータを送受信可能にします。これで、システムエクスクルーシブの互換性のないホストで制限されることがなくなります。

ホストで使用されているMIDIポートは'Not Available'(利用不可)と表示されるので、MIDIポートの選択ミスやそれによるクラッシュは防がれます。MIDIセットアップでは、特定のMIDIデータをフィルターしたり、MIDI IN/OUTの操作を切り替えることもできます。



Waldorf Pulse™ シンセサイザー

Waldorf Pulse™はドイツで生まれたラックマウントできるモノフォニックのアナログシンセサイザーです。それは、可変幅のパルス2つを含む3オシレーター、2LFO、割り当て可能な2つのエンベロープ、フィルター、アンプセクションに拡張アルペジエーターを搭載しています。さらに4つのモジュレーションルートのマトリックスがあり、それらはソースにもデスティネーションにも割り当てられます。これが Pulse にユニークなサウンドキャラクターを与えています。後に続いた Waldorf Pulse Plus™はやはりすばらしいシンセですが、さらに、MIDI CV コントロール機能が追加され、外部信号を Pulse のフィルターとアンプセクションに通すことを可能にしました。

インストール

この製品には、インストールをするためのインストーラーが用意されています。製品を使用する前に、インストールとライセンスの登録に関する以下の説明を読んで進めてください。

WINDOWS USERS

1. 製品を使用する前に、コンピュータとシンセの完全な接続をするために、このマニュアルの MIDI セットアップの説明を読んでください。
2. VST-AU_Pulse_Editor.msi インストーラーファイルを起動します。これは VST とスタンドアロンのアプリケーションと関連のファイルをコンピュータの次のフォルダにインストールします。

32 ビットのシステム

VST: C:\Program Files\Common Files\VST2\reKon audio\VST-AU Pulse Editor\
スタンドアロン: C:\Program Files\reKon audio\VST-AU Pulse Editor\

64 ビットのシステム

VST: C:\Program Files (x86)\Common Files\VST2\reKon audio\VST-AU Pulse Editor\
スタンドアロン: C:\Program Files (x86)\reKon audio\VST-AU Pulse Editor\

*注: 本製品は 32 ビット製品です。32 ビット製品は 64 ビットの DAW ホスト上でネイティブには動作しません。

3. 製品を使用するためには、取得したライセンスキー (.rkl ファイル)をステップ 2 でフォルダに収めます。

Mac OSX ユーザー

1. 製品を使用する前に、コンピュータとシンセの完全な接続をするために、このマニュアルの MIDI セットアップの説明を読んでください。
2. VST-AU_Pulse_Editor.pkg 内のインストーラーファイルを起動します。これは VST とスタンドアロンのアプリケーションと関連のファイルをコンピュータの次のフォルダにインストールします。

AU: [インストール場所の]/Library (ライブラリ) /Audio/Plug-Ins/Components/reKon audio/VST-AU Pulse Editor/

VST: [インストール場所の]/Library (ライブラリ) /Audio/Plug-Ins/VST/reKon audio/VST-AU Pulse Editor/

Standalone: [インストール場所の]/Applications (アプリケーション) /reKon audio/VST-AU Pulse Editor/

*注: 使用するホストが検出できるようにするためには、VST と Component フォルダのファイルを [User (ユーザー) /Library (ライブラリ) /Audio/Plug-Ins/ フォルダにコピーする必要があります。]

3. 製品を使用するためには、取得したライセンスキー (.rkl ファイル)をステップ 2 でフォルダに収めます。

MIDI セットアップ

使用するため前提

まず、対象のシンセサイザーの基本的な機能を理解してください。それはそのシンセのマニュアルおよび MIDI の基本を理解することです。この知識なしでは、本エディターの設定や使用方法を理解するのに時間が掛かるでしょう。

ステップ 1: Pulse の設定

Pulse とパソコンを MIDI ケーブルで接続し、割り当てる MIDI ポートと MIDI チャンネルを確認、設定してください。

ステップ 2: VST ホスト(DAW) のプラグインの設定

設定の方法はホスト(DAW)のソフトウェアによって異なります。各ホストのプラグインのサポートは異なるでしょう。また、VST Instruments からの MIDI データに対するサポートも異なるでしょう。使用できるホストについては、**reKon audio**のウェブサイト; www.rekonaudio.com で、Supported Hosts のリストを参照してください。そして、VST ホスト(DAW)のマニュアルのプラグイン(VST instrument (VSTi)または AU の設定方法を参照してください。

重要な注意: ホストアプリケーションで Pulse Editor を使用するときは、最初に、Pulse シンセと Pulse Editor が使用する MIDI ポートを、ホストの MIDI 設定で使用しないように設定する必要があります。そうすることで Pulse Editor の MIDI セットアップでそのポートを使えるようになります。そうしないと、そのポートは選択できなくなります。

Cubase SX 2-3 での設定例

VST-AU Pulse Editor™ を Cubase SX 2-3 または Cubase 4-5 で設定するには:

1. VST Instrument Plug-ins のフォルダに VST-AU Pulse Editor がインストールされていることを確認してください。
2. Cubase を立ち上げてください。
3. New Project を作成してください。
4. VST Instruments パネルを開き、VST スロットで「VST-AU Pulse Editor」VST を選択してください。
5. Pulse Editor の MIDI Setup ボタンをクリックして、Pulse を接続してある MIDI IN と OUT のポートを選択してください。

注: 他の VST ホストの設定法も似かよったものです。**reKon audio** のウェブサイト; www.rekonaudio.com の Host Support ページも参照してください。

Pulse Editor に Pulse 本体のパッチをロードするには

MIDI 入力の設定が完了し、Pulse の OS が最新の 2.0.1 であれば、Pulse 本体のシングルコントローラーダンプ機能を使用して、本体の現在のプログラムのパラメーターをエディターに読み込むことができます。

1. Pulse 本体で読み込みたいプログラムを選択します。
2. Waldorf Pulse 本体の SIFT + DUMP (MODE) ボタンを押して、スクロールボタンで Ctrl; コントローラーダンプを選び、もう 1 度 SIFT + DUMP ボタンを押してダンプを実行します。
3. エディターはプログラムの全てのパラメーターを読み込んでプリセットの値にします。
4. プリセットの名前を本体と同じまたは任意に変更します。
5. パッチを保存するには、VST Instruments パネルの VST-AU Pulse Editor スロットで、プリセット=.fxp ファイルとして保存します。

グラフィカル・ユーザーインターフェース

グラフィカル・ユーザーインターフェースの使用

VST-AU Pulse Editor™のグラフィカル・ユーザーインターフェースは、1スクリーン上で Waldorf Pulse の全てのコントロールに簡単にアクセスできるようにデザインされています。また、プリセット名をエディター上で表示、変更することができます。全てのコントロールは、スライダー、ツマミ、ボタンタイプかコンボボックス、テキストエディットボックスで提供されています。

VST-AU Pulse Editor™ユーザーインターフェース



パッチ・マネージャー

パッチマネージャーを表示するには、'Patch Manager' ボタンをクリックします。パッチマネージャーは 100 のパッチスロットがあり、名前を変更し、ドラッグアンドドロップで別のスロットへ移動し管理できます。移動には、パッチ番号のボックスをクリックし(赤い番号)、他のパッチ番号のボックス(白い字)へドラッグアンドドロップします。ドロップできる対象であれば赤いアウトラインで表示されます。パッチ番号をダブルクリックするとそのパッチのインターフェース画面に行けます。パッチマネージャーは 16 のバンクを切り替えることができます。各バンクには 100 のパッチを収められます。バンクはエディター上で選択できるだけです。選択したバンク番号にバンクファイルをロードまたは保存できます。

初期設定では、バンク 1 ~ 8 には reKon audio で用意したパッチが収められています。9 ~ 16 のバンクは空のデータなので新たなバンク作成のために使用します。

重要な注意: Pulse Editor を開いたときは、バンク 1 のみのデータが記憶されていて、ロードされます。他のバンクは改めてロードします。他のバンクデータを作成したときはエディターを閉じる前にバンク用ファイル(.fxb)として保存しておく必要があります。

パッチ・ランダマイザー

パッチランダマイザーを表示するには 'Rand' ボタンをクリックします。パッチランダマイザーは、ランダムにパッチを生成(ランダマイズ)し、あるいは特定のパラメーターをランダマイズから除外することができます。また、各パラメーターを 'VAL' 列で数値として表示し調節できます。ランダマイズするパラメーターは最小値と最大値を選ぶかパーセンテージを選ぶことで、ランダマイズの範囲をコントロールできます。新たにランダムなパッチを生成するには 'Randomize' ボタンをクリックします。ランダマイズは現在選択しているパッチに対して行われ、そのパッチデータに上書きされます。

MIDI Setup ダイアログ

MIDI Setup ダイアログは MIDI の接続とエディターで入力あるいは出力する MIDI データをコントロールするのに使用します。エディターと Pulse 本体がコミュニケーションを取るためには最初にこれを開く必要があります。MIDI IN と MIDI OUT のポートとチャンネルを Pulse 本体に合わせてください。MIDI データの送受信は MIDI LED (IN/OUT) で表示され、その表示はオン/オフできます。MIDI Echo は MIDI IN のデータを MIDI OUT ポートへ返します。通常は、この機能は使いません。

MIDI Monitor (モニター)

MIDI モニターはエディターに入力される、あるいは出力される MIDI データを見るのに使用します。初期設定ではエディターからの MIDI OUT のデータを表示しています。MIDI IN と MIDI OPUT の表示を切り替えるには、'Show MIDI In' か 'Show MIDI Out' のボタンをクリックします。表示したログは 500 メッセージまで自動的にクリアされるまで保持されます。ログ上のデータは他のアプリケーションのためにコピーして利用できます。

VST-AU Pulse Editor™ の操作

サウンドについて

VST-AU Pulse Editor™ は MIDI データに関してのみ動作するプラグインです。したがって、それ自身でサウンドを出力することはありません。すなわちサウンドは Pulse 本体が出力し、エディターでのコントロールが可能です。

コントロールの操作

VST-AU Pulse Editor のほとんどのコントロールは本体のツマミやボタンを模して、本体の操作と同じように操作できます。ツマミには2種類あって、ゼロないし最小値が左に回ってきた位置にあるものと、回転の中央がゼロポジションであるものがあります。それぞれは、そのコントロールが持つレンジによってタイプが決まります。

マウスホイールのサポート

マウスホイールをスライダの上下に使用できます。

ダブルクリックのサポート

初期値がセンター位置であるコントロールは、ダブルクリックすることでそのセンター位置に戻せます。

MIDI データの受信

VST-AU Pulse Editor™ は MIDI ピッチホイール、モジュレーションと SysEx データを受信できます。すべてのコントロールはハードウェアが対応する MIDI コントローラーメッセージに反応します。各コントロールが対応する MIDI CC 番号はこの後のリストで示されています。

MIDI LED (IN/OUT)

VST-AU Pulse Editor™ が MIDI データを送信または受信するとき、MIDI IN または OUT の LED が点滅します。この表示は MIDI Setup ダイアログでオン/オフできます。

About Screen

VST-AU Pulse Editor™ ロゴをクリックすると About Screen が表示されます。About Screen ではあなたの登録名、シリアル番号、製品のバージョンを表示します。

プリセットの操作

パッチ・マネージャーの操作

パッチマネージャーはプリセットを操作するのに一番簡単な方法です。使用法はパッチ・マネージャーの項を参照してください。

現在のプリセットを変える

プリセット名表示の脇の上下ボタンでプリセットを変えます。

プリセット名を変更する

プリセット名を変更するにはプリセット表示のディスプレイをクリックし、通常のテキスト入力と同様に名前を変更、入力し、Enter キーを押します。プリセット名は 24 文字まで使用できます。

COPY、PASTE ボタン

現在選択中のプリセットを他のプリセット位置にコピーするには次のようにします。プリセットセクションで、最初にコピー元のプリセットを選びます。まず右の COPY ボタンをクリックします。ボタンの色が変わることに注目してください。次に、ペースト先のプリセット番号を選びます。そこで、PASTE ボタンをクリックしてください(色は元に戻ります)。これでそのプリセットにペーストされました。他のプリセットにも続けてペーストできます。

Sysex プリセットの使用

Sysex プリセットとバンク

VST-AU Pulse Editor はパッチ及びバンクをシステムエクスクルーシブ(Sysex)ファイルでロード/セーブできます。プリセット表示下の Sysex メニューでパッチ/バンクを選択して、ファイルをセーブまたはロードしてください。Sysex でロードしたら、名前を付けて VST 用の.fxb/.fxp でセーブしておきましょう。

Sysex におけるパッチ/バンクの名前

Waldorf Pulse のプログラムの Sysex フォーマットにはプログラム名のパラメーターが含まれていません。したがってシンセ自身がこの情報を表示できないことは当然のことで、その Sysex を使ってエディターで作業するときに名前がないことになります。VST のプリセットファイル =.fxb/.fxp フォーマットでは名前を付けられるので、この形式で保存すると良いでしょう。

Waldorf Pulse で有効なプログラムの Sysex ファイルは 77 バイトで、Waldorf Pulse のマニュアルに仕様が載せてあります。VST-AU Pulse Editor でもこの形式のみ有効です。プログラムスロットの 0-39 か 40-79 をバンクとしてセーブ/ロードできます。Waldorf Pulse で有効なバンクの Sysex ファイルは 3092 バイトか 3100 バイトで、Waldorf Pulse のマニュアルに仕様が載せてあります。Waldorf Pulse のバンクは、各 77 バイトの 40 プログラム(Pulse の P.1-P.40)を含み、12 バイトのヘッダーが付いています。

VST-AU Pulse Editor は上記の形式の Sysex ファイルのみロード/セーブできます。もし、ロードできない Sysex ファイルがあるときは、上記のバイト数を確認してみてください。ある種の Sysex ユーティリティソフトウェアでは、追加のバイトを付加してしまう場合もあります。

バンクの Sysex ファイルの例を見ましょう。

```
F0 3E 0B 00 08 26 40 13 00 00 79 F7 F0 3E 0B 00 01 00 10 31 02 40 70 4E 00 28 00 01 10  
40 02 29 28 42 7F 73 00 16 06 66 7F 00 00 63 03 00 29 00 32 40 03 6F 01 00 01 02 0B 7F  
03 01 7F 03 06 7F 02 00 40 0A 02 03 0E 16 00 4A 40 40 1F 7F 04 49 7F 40 40 00 00 40 00  
37 F7 F0 3E 0B 00 01 01 40 41 01 16 40 40 00 53 01 01 40 40 00 7F 7F 47 56 00 04 00 08  
5F 13 25 1F 65 03 00 2D 54 00 21 03 53 0A 00 02 02 03 7F 07 04 32 06 0F 5D 05 06 50 0C  
02 01 10 2D 06 38 50 1C 28 66 0C 6B 5C 49 4D 0B 04 48 00 08 F7 ...
```

下線の 12 バイトがバルクダンプのヘッダーで、続いて FO と F7 で区切られる 77 バイトずつの各プログラムデータが順に送られます。そうして 12 バイト + 77 バイト x 40 プログラムで 3092 バイトになります。

DAW のオフラインで、シンセに Sysex を使う

多くの DAW ソフトウェアでは Sysex データを充分にはサポートしていません。また VSTi にリアルタイムで Sysex を送信するのは実用的ではありません。そこで、VST-AU Pulse Editor では Sysex ファイルをインポート、エクスポートできるようにしてあります。DAW がオフラインのときに、この Sysex ファイルをシンセ本体と送受信するには、ユーティリティソフトウェアを使用します。たとえば、Windows 用には MIDI-OX、Mac 用には SysEx Librarian があります。

MIDI コンティニユアスクントローラー (CC) リスト

次のリストのMIDI コンティニユアスクントローラーメッセージがVST-AU Pulse Editorのパッチ設定に使用されます。

CC #	パラメーター	値の範囲 / 内容
45	OSC 1 Level	0-127
32	OSC 1 Semi	-48 to +48
33	OSC 1 Tune	-32 to +31
34	OSC 1 Shape	Pulse, Saw, Triangle
35	OSC 1 Pulse Width	0-50
46	OSC 2 Level	0-127
36	OSC 2 Semi	-48 to +48
37	OSC 2 Tune	-64 to +63
38	OSC 2 Shape	Pulse, Saw, Triangle, CrossMod
39	OSC 2 Pulse Width	0-50
40	OSC 2 Keytracking	0-1 (on/off)
41	OSC 2 Sync	0-1 (on/off)
47	OSC 3 Level	0-127
42	OSC 3 Semi	-48 to +48
43	OSC 3 Tune	-32 to +31
44	OSC 3 Shape	Pulse, Saw, Triangle
57	MAIN Level	0-127
10	MAIN Panning	-64 to +63
48	MAIN Noise	0-127
58	MAIN Velocity	-64 to +63
61	PITCH Amount	-64 to +63
63	PITCH Scale	0-24
60	PITCH Source	0-15 (モジュレーションソース・チャートを参照)
5	PORTA Time	0-127
62	PORTA Mode	0-1 (on/off)
64	Hold	0-1 (on-off)
24	LFO 1 Speed	0-127
25	LFO 1 Shape	0-6
26	LFO 2 Speed	0-127
27	LFO 2 Delay	0-127
50	FILTER Cutoff	0-127
56	FILTER Resonance	0-127
51	FILTER Keytracking	-64 to +63
53	FILTER Velocity	-64 to +63
52	FILTER ENV 1 Amount	-64 to +63
55	FILTER MOD Amount	-64 to +63
54	FILTER Source	0-15 (モジュレーションソース・チャートを参照)
14	ENV 1 Attack	0-127
15	ENV 1 Decay	0-127
16	ENV 1 Sustain	0-127
17	ENV 1 Release	0-127
28	ENV 1 Keytracking	-64 to +63
29	ENV 1 Trigger	0-3 (Single T1, Single T2, Retrig 1, Retrig 2)
18	ENV 2 Attack	0-127
19	ENV 2 Decay	0-127
20	ENV 2 Sustain	0-127
21	ENV 2 Release	0-127
30	ENV 2 Keytracking	-64 to +63
31	ENV 2 Trigger	0-3 (Single T1, Single T2, Retrig 1, Retrig 2)
102	ARP On	0-2 (Off, On, Hold)

104	ARP Clock	0-31
106	ARP Mode	0-7 (Up, Down, Alt, Rand, Ass Up, Ass Down, Ass Alt)
105	ARP BPM	Midi, 48-300 (bpm)
103	ARP Range	1-10
108	MOD 1 Source	0-15 (モジュレーションソース・チャートを参照)
110	MOD 1 Destination	0-15 (モジュレーションデスティネーション・チャートを参照)
109	MOD 1 Amount	0-127
111	MOD 2 Source	0-15 (モジュレーションソース・チャートを参照)
113	MOD 2 Destination	0-15 (モジュレーションデスティネーション・チャートを参照)
112	MOD 2 Amount	0-127
114	MOD 3 Source	0-15 (モジュレーションソース・チャートを参照)
116	MOD 3 Destination	0-15 (モジュレーションデスティネーション・チャートを参照)
115	MOD 3 Amount	0-127
117	MOD 4 Source	0-15 (モジュレーションソース・チャートを参照)
119	MOD 4 Destination	0-15 (モジュレーションデスティネーション・チャートを参照)
118	MOD 4 Amount	0-127
22	PLUS CV2 Source	0-15 (モジュレーションソース・チャートを参照)
23	PLUS External Amount	0-127
49	PLUS External Level	0-127

モジュレーション・ルーティング・チャート

Waldorf Pulse で選択可能なモジュレーション・マトリックスのソース(変調元)とデスティネーション(変調先)のチャートです。

値	モジュレーション・ソース	モジュレーション・デスティネーション
0	Off	Pitch
1	LFO 1	OSC 1 Pitch
2	LFO 1 Mod Width	OSC 2 Pitch
3	LFO Aftertouch	OSC 3 Pitch
4	LFO 2	PulseWidth 1
5	LFO 2 ENV 1 Amount	PulseWidth 2
6	ENV 1	OSC 1 Level
7	ENV 2	OSC 2 Level
8	Velocity	OSC 3 Level
9	Keytracking	Noise Level
10	Pitch Follow	Cutoff
11	Pitch Bend	Resonance
12	Mod Wheel	Volume
13	AfterTouch	Panning
14	Breath	LFO 1 Speed
15	Control X	Modulation 1 Amount

MIDI インプリメンテーション・チャート

次の MIDI データはエディターから送信(Tx)、受信(Rx)されます。

Message	Tx	Rx	Notes
Channel	o	o	1-16
Mode	x	x	Omni mode
Note On/Off	o	o	note numbers 0-127
Velocity	o	o	0-127
Aftertouch	o	o	0-127
Poly Pressure	o	o	0-127
Pitchbend	o	o	0-127
Modulation	o	o	0-127
Continuous Controller	o	o	0-127
Program Change	o	o	0-127
System Common	x	x	
System Realtime	x	x	
System Exclusive	x	o	

x=no

o=yes

注:仕様は断りなく変更されることがあります。

©2010 reKon audio. www.rekonaudio.com